

今号の写真:リンドウ

《 目 次 》

- トピックス
 - ・新“うつくしま、ふくしま。”県民運動知事感謝状がたのせ地区と吉村徳男氏に贈られました
 - ・館岩地区林業振興協議会が東北・北海道ブロック林業グループコンクールで優秀賞
 - ・道の駅八王子滝山にて物産展を開催
 - ・只見小学校での生き物とのふれあい
 - ・夏休み！移動租税教室で治山ダムの役割を紹介
 - ・南会津ふるさとワークステイ
 - 首都圏等からの参加者、続々！農作業体験中！
 - ・ふくしまからはじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動南会津地方推進本部平成26年度総会及び意見交換会について
- 農林事務所からのお知らせ
 - ・森林づくりタウンミーティング参加者募集
 - ・26年産米の放射性物質全量全袋検査の実施について
 - ・野生きのこ・樹実類の出荷販売について
 - ・農作業安全運動実施中
 - ・第6回南会津そば祭りの御案内
 - ・食育の取り組みについて
 - ・マイマイガの対策について
- 特集 発見！おいしい南会津

平成26年9月30日発行 福島県南会津農林事務所



ふくしまからはじめよう。
「食」と「ふるさと」新生運動

トピックス

新“うつくしま、ふくしま。”県民運動知事感謝状がたのせ地区（南会津町）と吉村徳男氏（下郷町）に贈られました

地域社会の発展に協力した団体や個人をたたえる「新“うつくしま、ふくしま。”県民運動」知事感謝状贈呈式が8月18日に福島市で行われ、南会津町の「たのせふるさとづくり会」や下郷町の吉村徳男氏など13の団体・個人に贈呈されました。

たのせふるさとづくり会は、芝浦工業大学等との交流をはじめとして、地域をあげて外部との交流を積極的に行い、全員参加の村づくりを展開し地域コミュニティの再生に貢献されています。



たのせふるさとづくり会会長星利一氏

吉村徳男氏は大内宿でそば処を営む傍ら、昔ながらの町並みを支える茅葺き屋根を守るため自ら技術習得に努めるとともに、「大内宿結いの会」を創設し、地域の伝統文化や年中行事の保存に貢献されています。これまでの御功績に心から敬意を表するとともに、今後も皆さんの地域を盛り上げる活動に注目です。



吉村氏（中央）と加藤農林事務所長（左）、遠藤企画部長（右）

（企画部）

館岩地区林業振興協議会が東北・北海道ブロック林業グループコンクールで優秀賞

9月3日・4日、全国林業研究グループ連絡協議会等の主催による平成26年度東北・北海道林業グループコンクールが岩手県盛岡市において開催され、県代表として参加した南会津町の館岩地区林業振興協議会（発表者：鈴木秀明さん、阿久津秀幸さん）が優秀賞を受賞しました。

今回の発表では震災以降取り組んできた、避難者との交流による「絆の森づくり」、風評被害払拭のためのPR活動や出前講座の実施、関東圏の中学生を対象とした林業体験教室や、20～30代の地域住民と大学生が一緒になった林業技術研修会の開催などについて報告がなされました。



見事に優秀賞を受賞されました

同協議会では、今回の受賞を励みに地元の期待に応えられるよう、事業に取り組んでいきたいとのことでした。今後益々のご活躍をご期待申し上げます。（森林林業部）

道の駅八王子滝山にて物産展を開催

8月6日～8日及び9月3日～5日にかけて、東京都唯一の道の駅である道の駅八王子滝山において、南会津地方の農産物・農産加工品の物産展「いいもの大集合！南会津ふるさと物産展」が開催されました。

2回目の今回は道の駅しもごう、道の駅たじま、道の駅さらら289、道の駅番屋の管内4つの道の駅とまちの駅の他に只見町観光まちづくり協会が新たに参加し、実施されました。

南郷トマトや会津田島アスパラなどの農産物に加え、漬け物等の加工品・お土産品の他、南会津の地酒を販売するとともに、南会津地方の観光情報や風評払拭の取り組みについて紹介しました。

野菜が高騰していることからお客様には、新鮮なトマト、トウモロコシなどの南会津産の夏野菜が特に好評でした。
(企画部)



南会津の特産品は首都圏の方にも好評でした

夏休み！移動租税教室で 治山ダムの役割を紹介

8月11日、子どもたちに税金の使い途と必要性を知ってもらうことを目的とした「夏休み！移動租税教室」（主催：南会津法人会女性部会）が開催され、その中で、下郷町、南会津町の小学生38名が参加し、森林の働きと治山ダムのしくみについて学んだほか、木工教室で枝を使用したキーホルダー作りを体験しました。

治山ダムのしくみでは、農林事務所職員がダムの模型を使い、そこに土砂と水を流して、治山ダムが土砂を堰き止める様子を観察し、治山ダムの役割と必要性について認識していました。

子どもたちはとても興味深く観察し、税を知る夏休みの思い出の1つになりました。

(森林林業部)



ダムの模型に興味津々の子どもたち

只見小学校での生き物とのふれあい

7月4日に只見小学校において、自分たちが住む農山村の環境を学び、農作物の生育における水の重要性に気づいてもらうことを目的に「畑の学校」（生き物調査）を行いました。

アクアマリンふくしまから講師を招き、1～4年生を対象に、ドジョウやカエル、イモリなどの水生生物の他に、近年減少傾向のコオイムシの生態調査を実施しました。子ども達は熱心に講師の説明に耳を傾け、自らの疑問を積極的にぶつけていました。

生き物を捕獲したり、観察したことで、自分たちの生活環境にどんな生き物がいるのかを知る良いきっかけとなりました。今後も、本活動を通して、児童たちに農業やその周りの環境について伝えていきたいと思えます。
(農村整備部)



生き物調査に熱心に取り組む子どもたち

南会津ふるさとワークステイ 首都圏等からの参加者、続々！農作業体験中！

南会津ふるさとワークステイは、農林業や農山村に関心のある方が、農家に泊まりながら一緒に農作業等を体験するもので、今年度は、9月15日現在で延べ14名の方が南会津にいらっしゃいました。

暑い時期のハウスでのトマトの栽培管理、花の管理、畑での野菜の収穫などを体験した参加者からは、「こんな大自然の中で

農作業ができるなんて！」「受入農家さんや地域の方の話を聞いて勉強になる！」等の声が聞かれ、各参加者・受入農家にとって、有意義な受入体験となりました。
(企画部)



農作業体験に取り組む参加者

ふくしまからはじめよう。「食」と「ふるさと」 新生運動南会津地方推進本部平成26年度総会 及び意見交換会について

8月12日、南会津合同庁舎において「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」南会津地方推進本部平成26年度総会及び意見交換会を開催しました。

総会では、各構成員の平成25年度の取組状況の報告が行われるとともに、平成26年度事業計画等について協議しました。

また、会議の後半では、「南会津の農林水産業を通じた地域活性化について～私からのメッセージ～」をテーマに各分野の第一線でご活躍されている星永重さん（藤龍館 代表取締役）、三瓶やえさん（有限会社さんべ農園）、猪股成子さん（企業組合とんぼのめ理事 社長）、羽田正さん（有限会社F.K.ファーム 代表取締役）の4名から事例発表をしていただきました。



意見交換会の様子

発表者からは、情報発信や商品開発、農業経営といった視点を通してそれぞれの取り組みが紹介されました。

発表後の意見交換では、町村、団体などの構成員から給食の地産地消における検査体制整備の重要性や、農業振興においての地域、事業者、行政の連携のあり方を考えていくことの必要性について意見が出されました。

南会津地方推進本部では、こうした意見等を取り入れ、今後の運動をより効果的に展開していきますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

（企画部）

農林事務所からのお知らせ

森づくりタウンミーティング参加者募集

県では、森林を全ての県民で守り育て未来へ引き継ぐため、平成18年度から森林環境税を導入し、県民参画による森林づくりに取り組んでいます。

この度、県民の皆様これまでの取組や成果お知らせし、ご意見をお聞きするタウンミーティングを開催しますので、是非ご参加ください。

日 時：平成26年10月23日（木）18:30～20:00
会 場：御蔵入交流館（南会津町田島字宮本東22）
申込先：南会津農林事務所森林林業部林業課
TEL：0241-62-5375（森林林業部）

26年産米の放射性物質 全量全袋検査の実施について

管内の25年産米については、生産者の皆様の御協力により、31.4万袋を超える全量全袋検査を完了できましたことに改めて御礼申し上げます。

26年産米についても、本県産の米の信頼向上と安全・安心の確保のため、全量全袋検査を実施します。生産者の皆様の一層の御理解と御協力を御願います。

1 検査の対象

昨年同様、県内全ての地域を対象に検査を実施します。

出荷・販売米、飯米、縁故米、食用となる「ふるい下米」など、全ての米が検査対象です。

2 検査の方法

管内では、昨年と同じ7カ所の検査所において検査を実施します。

○米袋識別バーコードラベルについて

26年産米の検査では、新たなラベルとなります。昨年配布したラベルは廃棄してください。

○検査済ラベルと米の出荷・販売について

検査を行い、基準値以下である米袋には、検査済ラベルが貼られます。また、検査済みの玄米を使用したことを示す26年産米精米袋用ラベルの配布は、ふくしまの恵み安全対策協議会において受け付けております（農産物検査を受検したものに限り）。

詳しくは、各町から配布される資料をご覧ください。
〈申込先〉ふくしまの恵み安全対策協議会
（県環境保全農業課）

TEL 024-521-8446



《精米袋用ラベルのイメージ》



《検査済みラベルのイメージ》
（農業振興普及部）

野生きのこ・樹実類の出荷販売について

県では、野生きのこ45品目、樹実類3品目について、品目毎に市町村単位で緊急時環境放射線モニタリング検査を実施しています。

平成23年度から行ってきた検査の結果、下郷町及び只見町で採取された「野生きのこ全品目」が出荷制限となっています。下郷町、只見町及び出荷制限指示が出されている市町村産の野生きのこは、採取、出荷販売及び宿泊施設等での提供をしないようお願いいたします。

樹実類や摂取、出荷制限のない檜枝岐村及び南会津町産の野生きのこについても、今シーズンのモニタリング検査で安全が確認されてから出荷販売するよう、ご協力をお願いします。

(森林林業部)

秋の農作業安全運動実施中

秋の農作業安全運動が10月31日まで実施されています。秋の実りの時期を迎え、慌ただしい日が続きますが、余裕を持った計画を立て、農作業中の事故に注意してください。(農業振興普及部)

第6回南会津そば祭りの御案内

南会津新そばまつりは今年で6回目を迎えることになりました。今年も南会津管内各地のそば団体が出店します。ぜひ、香りの良い新そばの味の食べ比べなどお楽しみください。

また、「元気です！南会津都市交流フェスタ」が同時開催され南会津の農産物や特産品の販売等が行われますので、皆様ふるってご参加ください。

開催日時：10月12日(日)～13日(月・祝日)(2日間)

営業時間：午前10時～午後4時(13日は3時半まで)

会場：南会津町田島『御蔵入交流館特設会場』

前売券：3食綴り1,350円 当日券：1食500円

(農業振興普及部)

食育の取り組みについて

8月18日には南会津町の御蔵入交流館にて「第1回学校給食における地場産品活用のための勉強会」及び「ふくしまっ子の食環境を考える会」(主催：県教育委員会)が開催されました。両会議では、学校給食でもっと地場産品を活用するための方法や事業者の連携、子どもたちがよりよい食生活を送るための学校、家庭、地域の連携の必要性等について話し合いが行われました。

また、子どもを対象とした食育の活動を活性化するため、地域の食文化や郷土食の伝承等取り組む方を「ふくしま食育実践サポーター」として要請に応じて派遣する事業も行っています。詳しくは南会津農林事務所企画部

(TEL 0241-62-5252) までお問い合わせ下さい。
(企画部)

マイマイガの対策について

今夏、南会津管内でマイマイガが大量発生しました。マイマイガとはドクガ科の蛾で、幼虫は樹木の葉や水稻などの農作物を食害するほか、皮膚の弱い人は触るとかぶれる場合もあります。

大量発生は2～3年続くといわれており、来年の大量発生を抑制するためには、壁や電柱等についた卵を駆除することが効果的です。駆除の方法は次のとおりです。

- ①卵を覆う鱗毛が舞い上がる恐れがあるため、マスク・手袋・ゴーグルを着用する。
- ②ヘラ等を用いて卵を取り除く。
- ③各自治体が定める方法で処分する。

自宅の壁や庭木などにマイマイガの卵を見つけたら、孵化前の3月頃までに駆除するよう御協力をお願いします。なお、高所で作業を行う際は、安全に十分留意してください。(森林林業部)



マイマイガ成虫と卵塊
平成26年7月25日撮影

特集 発見！おいしい南会津～マトン～

新企画「発見！おいしい南会津」では、南会津地方に根付く食材やちょっと珍しい食材をご紹介します。

第1回は只見町で愛されている「マトン」(羊肉)です。元々は田子倉ダム建設工事の作業員の方がタンパク質を得るために食べたのが始まりだそうです。只見町では各店舗秘伝の味付けマトンやピタパンにマトンを挟んで甘酸っぱいドレッシングでいただくマトンケバブを食べることができます。ちなみにマトンケバブcafeのピタパンは玄米が配合されたもちり食感で、柔らかいマトンと相性抜群です。

只見町観光まちづくり協会では、ホームページでもマトンを扱っている店舗を紹介していますのでぜひご覧下さい。

<問い合わせ先> 只見町観光まちづくり協会
TEL 0241-82-5250 (企画部)



マトンケバブcafeではお好みでチーズや辛いソースがトッピングできます

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a>

電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256



Future From Fukushima.

みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。